

「介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書（第1.0版）」問い合わせ一覧

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
1	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1 概要	介護被保険者番号等情報連携	3	<p>各情報について、日次で介護情報基盤に連携を行います。これまでの過去分の情報について、連携を行う必要があります。連携を行う必要がある場合、どのように連携を行うかご教示願います。（当初セットアップ方法の記載がないため確認させていただきたい。加えて、各自治体で、連携開始時期が異なる場合、基準日での有資格者を連携する時期を合わせるかなどを確認させていただきたい。）</p> <p>また連携を行う必要がある場合、「2. 5. 2 データ保有期間の制限について」についての関係性も合わせてご教示願えばと思います。</p> <p>自治体ごとに連携開始時期が異なる想定であり、初期セットアップ編にて規定される抽出条件に従い、対象データを抽出いただく予定です。（基本的には自治体ごとで連携開始時期が異なることから、一律の基準日とはせず、各自治体の初期セットアップ時期に合わせた基準日で抽出いただくこととなる想定です。）</p> <p>データ保有期間の制限についてですが、初期セットアップ時の過去分であっても抽出基準日において有効な資格を保有する被保険者を対象とする想定です。よって死亡している被保険者等の情報は連携いただかない想定であることから保有期間の制限には抵触しない想定です。</p>
2	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1 概要	要介護認定情報（全量・日次）連携	4	<p>要介護認定情報（全量・日次）連携は、概要に記載されている通り、要介護認定状況が「認定」「職権認定」「却下」状態となった要介護認定情報を連携するインタフェースであり、要介護認定状況が「申請受理」「申請取下」のレコードは連携する必要はないものと解釈しています。</p> <p>要介護認定状況が「申請受理」「申請取下」のデータを連携した場合、エラーとなりますでしょうか。弊社では①を想定しています。</p> <p>＜想定回答＞</p> <p>①エラーとする</p> <p>②エラーとはしないが連携する必要はない</p> <p>③その他</p> <p>要介護認定情報（全量・日次）連携は、質問内容の通り、「認定」「職権認定」「却下」状態となった要介護認定情報を連携するインタフェースであります。そのため、上記以外のステータスのケースは、エラーとなります。</p>
3	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1 概要	要介護認定情報（全量・日次）連携	4	<p>要介護認定情報（全量・日次）連携について、現在全ての自治体から認定ソフトに認定情報(国保連データ出力時事務処理システム等から) NCI251として連携している情報と重複しています。国保連から介護情報基盤に連携する仕組みにさせていただくことはできないでしょうか。</p> <p>要介護認定情報（全量・日次）で連携される情報は、認定ソフトの情報（NCI251※月次）よりも項目数が多く連携頻度が高くなっております。全国の保険者様から漏れなく要介護認定情報（全量・日次）を連携いただけるようになった後に、要介護認定情報（月次）（NCI251）の収集方針について再検討する予定です。</p> <p>そのため、当面重複があり恐れ入りますが、介護情報基盤向けに要介護認定情報（全量・日次）を連携いただきますよう、よろしく願います。</p>
4	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1 概要	介護保険サービス計画・実施	5	<p>居宅サービス計画作成・介護予防サービス計画作成（介護予防ケアマネジメント）依頼届出情報の連携について、介護情報基盤から随時取得するとなっているが、13ページではバッチによる連携も記載されている。</p> <p>そのため、随時取得する場合はAPIによる連携を行い、バッチ処理による連携を行う場合は夜間でのバッチ連携可能であるという認識で問題ないか。</p> <p>記載いただいた連携については、ご認識の通り可能となります。</p> <p>補足ですがバッチおよびAPIいずれの取得要求方法でも連携タイミングは随時（※）で可能となります。（KHS側の実行タイミングを指定していないという意味での随時という用語を用いています。そのため夜間バッチでの一括取得、日中でのAPIによる都度取得も可能となります）</p> <p>※ 2. 1. 1 データ連携のパターン（2）に記載の5時～8時は取得要求不可</p>
5	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1 概要	介護保険サービス計画・実施	5	<p>介護被保険者証利用情報連携が規定されているが、介護標準仕様書4.1版の機能・帳票要件には記載がない。</p> <p>今後、実装必須として記載されるか。</p> <p>また、当該情報は被保険者証の電子化などの対応の中で整備される想定のため、適合基準日についても今後規定される認識で問題ないか。</p> <p>弊社では今後の介護標準仕様書の改版にて実装必須として定義され、適合基準日については被保険者証の電子化対応の中で検討すると想定している。</p> <p>ご指摘いただいた内容については、厚労省および標準仕様書策定団体にも共有し検討いただくよう連携いたします。</p>
6	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1 概要	介護保険サービス計画・実施	5	<p>介護被保険者証利用情報参照が規定されているが、介護標準仕様書4.1版の機能・帳票要件には記載がない。</p> <p>今後、実装必須として記載されるか。</p> <p>また、当該情報は被保険者証の電子化などの対応の中で整備される想定のため、適合基準日については今後規定される認識で問題ないか。</p> <p>弊社では今後の介護標準仕様書の改版にて実装必須として定義され、適合基準日については被保険者証の電子化対応の中で検討すると想定している。</p> <p>ご指摘いただいた内容については、厚労省および標準仕様書策定団体にも共有し検討いただくよう連携いたします。</p>

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
7	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1. 1 データ連携のパターン	(1) 介護保険システムの情報登録パターン	6	<p>「介護保険システムはAPI、バッチを通じて登録要求を行う。または、職員による画面操作を通じて登録要求を行う。」とありますが、職員による画面操作で削除依頼を行うことは可能でしょうか。</p> <p>また、可能な場合は、CSVファイル等の作成を行わず、職員の操作のみで依頼を行うことは出来そうですでしょうか。※可能でしたら、画面操作に関わるマニュアル等の公開をお願いいたします。</p> <p>弊社では①を想定しています。</p> <p><想定回答></p> <p>①職員による画面操作のみで削除可能</p> <p>②職員による画面操作となるが、削除用ファイル等をアップロードする必要がある</p> <p>③その他</p>
8	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 1. 1. 2 データ連携方法	処理結果の照会	9	<p>～抜粋～</p> <p>、介護情報基盤に登録したデータの処理結果を照会する際には、原則登録時の連携方法と同様の連携方法で処理結果を照会すること。</p> <p>～</p> <p>との記載があるが、処理結果を照会する際の制限を設けている意図および、原則に該当しないケースを具体的に教えて欲しい。</p>
9	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 2. 1. 1 連携方式	(5) 登録結果返却 (ファイル連携)	19	<p>①介護保険システムによるリクエスト送信（介護情報基盤受付番号、明細出力区分）について「明細出力区分」項目があるが、具体的にどのような値を設定するか仕様を提示願いたい。</p>
10	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 2. 1. 4 フォーマット		21	<p>国保連合会インタフェースと同様にヘッダ部レコード、およびボディ部レコードの設定について、齟齬が発生しないように設定例を記載していただきたい。</p> <p>加えて、サンプルデータも提示いただきたい。</p>
11	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 2. 2. 1 セキュリティ	(4)介護システムにおけるエラー処理	22	<p>技術的詳細情報とは具体的に何を指しているか。認証情報はログに出力しない旨の記載があるが、それ以外に仕様上でNGな情報を確認したい。</p> <p>インタフェース仕様書内で想定される技術的詳細情報について明記いただきたい。</p>
12	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 3. 2. 1 項目説明の内容	(7) 必須	23	<p>「△」、「ー」による空欄とする場合の設定値について、属性初期値の半角数字:0、半角文字:" "(半角SPACE)、全角文字:" "(全角SPASE)を設定するのか、""(null値)を設定するのか、どちらでも可能であるか、明確にお示ししていただければと思います。</p>
13	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 3. 2 項目説明の表記について	(7) 必須	23	<p>登録要求において「△」の記載に以下の記載がある。</p> <p>～抜粋～</p> <p>条件付きで必須、または任意で記録する</p> <p>～</p> <p>これは項目の説明として「○○の場合は必須」や「○○の場合に設定」のように条件が明記されていない項目については全て任意で記録という見解で相違ないか。</p> <p>見解が異なる場合、条件付きで必須となるパターンや対象項目の明示をお願いしたい。</p> <p>弊社では明記していない項目については全て任意項目となることを想定している。</p>

問い合わせ内容					回答内容	
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	問い合わせ内容	回答
14	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 1 項目設定共通事項	(5)「介護保険者番号」欄	25	「一部事務組合の場合、介護保険者番号の欄には事務組合番号を設定する。」と記載されていますが、事務組合番号を把握する方法をご教示願います。	事務組合番号につきましては別途周知する予定となりますので、案内が発出されるまで今しばらくお待ちください。
15	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 3 各データの登録・更新・削除の方法について	更新区分情報	28	各登録用インタフェースの更新区分として、現在は「新規、更新、削除」の3つを設けられていますが、例えば「登録（現在の新規、更新に該当）、削除」の2つとし、更新区分が「登録」で連携された場合、介護情報基盤側でキー情報の情報が既に登録済の場合は、更新の処理を行い、未登録の場合は、新規登録の処理とすることはできないでしょうか。（キー項目が一致しているか（新規が更新か））どうかについては介護情報基盤側で判定していただけないでしょうか） （理由） 自治体システム側で、各主キー毎に介護情報基盤に登録済か否かを管理すると、介護情報基盤との管理差異が発生した場合に、情報の登録ができなくなることなどを懸念しております。	ご要望にお応えできず申し訳ありませんが、特定情報の「新規登録」および「情報更新」については介護保険システム側で管理し、「情報更新」の際には更新区分情報を「更新」として介護情報基盤へご連絡いただくようお願いいたします。
16	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 3 各データの登録・更新・削除の方法について	(3)削除	28	～抜粋～ 介護被保険者番号等情報を削除し、当該被保険者番号に紐づく介護保険資格が存在しない状態となる場合は、当該資格に紐づく他の情報（負担割合証情報等）についても介護保険システムより削除の要求を行い、各情報の整合が保たれるように連携すること。 ～ との記載があるが、これは「介護被保険者番号等情報連携」インタフェースによる削除が行われた場合の話であると想定している。 この場合、運動して削除される対象として以下のインタフェースも該当するか。 ・要介護認定情報（全量・日次）連携 ・要介護認定進捗状況情報連携 弊社では上記インタフェースは「介護被保険者番号等情報連携」インタフェースの削除に運動して削除される対象には含まれないことを想定している。	記載いただいた要介護認定に関する2つのインタフェースについても、削除要求を実施していただく必要があります。
17	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 3 各データの登録・更新・削除の方法について	(3)削除	28	上記とは逆に以下のインタフェースを削除した際に、運動して削除すべきインタフェースがあるか。 ・要介護認定情報（全量・日次）連携 ・要介護認定進捗状況情報連携 例として、要介護認定情報連携にて削除された場合、進捗状況連携のデータも併せて削除する必要があるか。 弊社では上記のインタフェース間は運動して削除する必要はないと想定している。	要介護認定に関する記載の2インタフェースについては、運動して削除する必要はございません。
18	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について	要介護認定情報（全量・日次） 要介護認定進捗状況情報連携	29	「要介護認定履歴番号」とはどのような番号になるか。 例えばA市で新規申請した被保険者について、一度認定期間が終了し、数年後に別のB市で新規申請した場合、B市のデータとしては「要介護認定履歴番号」は「2」となる想定か、あるいは「1」となる想定か。あるいは232ページに記載のとおり、「要介護認定履歴番号」は、当該認定申請内での履歴番号であり、再調査や意見書の再入手が発生しない限りは基本的に「0」となる想定か。 いずれのどのパターンとなる想定か。 A) 自治体に関係なく、認定を受けた履歴の番号 B) 当該自治体で認定を受けた履歴の番号 C) 当該申請内での再審査に伴う履歴の番号 弊社ではB)のパターンを想定している。	「要介護認定履歴番号」については、各自治体ごとに連番で管理いただく想定となるため、パターンBが該当いたします。

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
19	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について	要介護認定情報（全量・日次） 要介護認定進捗状況情報連携	29	「要介護認定履歴番号」が担当自治体を問わず、制度上の累積という認識である場合は、システムが持つデータ上での機械的な判断が困難と考える。 そのため、履歴番号については運用の中で適宜設定してもらう想定となるが、この場合、履歴情報を誤って登録した場合、意図しない介護情報基盤の情報が更新されてしまう可能性があるのではないか。 以下のインタフェースにおいて、申請日もキー項目として増やす必要はないか。 ・要介護認定情報（全量・日次）連携 ・要介護認定進捗状況情報連携
20	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について	要介護認定情報（全量・日次） 要介護認定進捗状況情報連携	29	「要介護認定履歴番号」について 同一市町村内で介護保険事務処理システムと認定審査会システムが別ベンダーである場合、要介護認定履歴番号の付番方法がそれぞれ異なる場合があることが想定される。例えば ・要介護認定情報→事務処理システム ・進捗状況情報 →認定審査会システム から連携する場合、同じ認定申請日のデータでも要介護認定履歴番号が異なるというケースが発生するのではないか。 認定ソフトと同様に保険者番号、被保険者番号、認定申請日、枝番（履歴番号）をキー項目としてはどうか。
21	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について	-	29	「2. 2. 1. 1 連携方式」に記載のある"（4）登録要求（JSON形式連携）"において、1リクエスト内でもファイル同様に重複に関して制限はあるのか。 弊社では同一リクエスト内で主キーが重複することは制限となると想定している。インタフェース仕様書、または別紙の備考に記載いただきたい。
22	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について	-	29	・3. 減免減額認定証 ・4. 負担割合証 の2件について、当年度分と翌年度分の申請が同時に行われ、同一交付年月日で2か年度分の証が発行される場合があります。 キー項目に年度を判断できる項目※の追加をお願いいたします。 ※「3.減免減額認定証」…csvレイアウトのNo.24有効期限 「4.負担割合証」…csvレイアウトのNo.17負担割合年度
23	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について	-	30	「データ連携を行う際は一つのレコードとして集約した上で連携すること。」と記載がありますが、同日に複数の資格異動が発生した場合、どのように連携を行えばよいか、ご教示願います。 弊社では、最新状態を連携すればよい想定しています。

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
24	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 6 送信可能時間帯	介護情報基盤の処理イメージ	31	<p>受信ファイル単位での非同期処理との記載がありますが、「介護被保険者番号等情報連携」で、PMHキー発行とあります。「介護被保険者番号等情報連携」でPMHキー発行が完了する前に「被保険者単位の登録（資格情報以外）」のカテゴリに該当するI/Fの登録要求した場合、エラーとなりますでしょうか。弊社では①を想定しています。</p> <p><想定回答> ①エラーとなるため再送が必要 ②エラーとならない ③その他</p>
25	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 7 署名付きURLの容量上限に関する注意事項	(1)容量上限	32	<p>容量上限を超えるファイルのため複数ファイルに分割して登録要求を行う場合、APIコールを分割ファイル数分実行し、署名付きURLを分割ファイル数分取得する必要があるか。</p> <p>もしくはAPIコールは一度のみ実施し、取得できた署名付きURLを利用して複数ファイルを連携することとなるか。</p> <p>弊社ではAPIコールを分割ファイル数分実行し、署名付きURLを分割ファイル数分取得する必要があると想定している。</p>
26	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	2. 5. 7 署名付きURLの容量上限に関する注意事項	(2)LGWANによる影響	32	<p>介護情報基盤において、接続のタイムアウト時間の設定はどうなっているか。具体的なタイムアウト時間をご提示ください。</p>
27	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	3 接続方法	-	33	<p>記載は自治体環境の想定だが、開発時に利用できる連携テスト環境または、開発用の接続ツールなどは提供されるか。</p> <p>弊社NW等の開発環境からアクセスする手段あるか。</p>
28	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	4. 2 共通処理	(2)	34	<p>エラーオブジェクトの定義が分からない。 下記と同一のものか。 「HTTPステータスコードに正常（200）を返却し、JSON項目の処理結果にエラーを設定して返却する。」 エラーオブジェクトに関して明記がないため、インタフェース仕様書に補記いただきたい。</p>
29	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	4. 2 共通処理	(4)	34	<p>処理結果でエラーが返る場合の内容が分からない。 エラーメッセージIDおよびメッセージ文字列が処理結果で返却される認識で良いか。エラーコードも返却されるのか。</p> <p>弊社ではエラーコードはエラーメッセージIDを指すと想定している。また、エラー時の返却例をインタフェース仕様書に補記いただきたい。</p>
30	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	4. 3 使用上の制限	(2)(3)	34	<p>リクエストデータのサイズは4 MBとあるが、具体的にどの部分になるのか。ヘッダーなども含めて確認したい。</p> <p>弊社ではリクエストボディ部分のサイズとなり、リクエストヘッダー部分は含めないことを想定している。</p>
31	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5 各インタフェース仕様		35	<p>周期について「随時リアルタイム」となっているが、「随時」もしくは「リアルタイム」との認識でよいか。</p>

問い合わせ内容					回答内容	
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	問い合わせ内容	回答
32	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5 各インタフェース仕様	ー	35	介護情報基盤に連携する情報について初期セットアップを行う必要があるが、自治体で管理している情報すべてを対象として送付する必要があるか。もしくは、セットアップ期日時点の有資格者を抽出して送付する必要があるか。 弊社ではセットアップ期日時点の有資格者を抽出して送付する必要があると想定している。	初期セットアップについては、初期セットアップ編として別途ご案内させていただき予定となります。
33	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5 各インタフェース仕様	ルート	35	ルートについてすべて「保険者→介護情報基盤」となっている。「居宅サービス計画作成・介護予防サービス計画作成（介護予防ケアマネジメント）依頼届出情報連携」等、介護保険システムの情報取得パターンに該当するインタフェースも、最初のアクションとしては介護保険システムがAPI、パッチを通じて情報取得要求を行うためこの記載となっていると想定するが、介護保険システムの情報取得パターンに該当するインタフェースについては保険者が情報を取得するという流れがわかるようなルートの記載にした方がいいのではないか。	ご指摘の通り、情報取得要求であることが分かる記載に修正いたします。
34	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5 各インタフェース仕様		36	介護被保険者証利用情報参照について、介護保険者から当該情報の連携を行う形になるため、当該情報は介護保険システムにて情報を保有していると思われますが、どのような場合に照会を行うことを想定しているかご教示願います。	「介護被保険者証利用情報」は「介護被保険者番号等情報連携」にて初期情報が介護情報基盤内に作成されます。 そのため、まずは介護情報基盤における「介護被保険者証利用情報」への参照要求を実施いただき、必要に応じて介護保険システムから「利用停止」の情報連携を実施いただく想定です。 なお、上記の内容は仕様書の次回改版時に記載いたします。
35	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 1 受け渡し概要	登録要求	39	登録要求→登録結果返却の流れについて 登録要求の中で介護情報基盤受付番号をレスポンス受信したあと（メールでも介護情報基盤受付番号は連絡されますが）、登録結果返却ではその介護情報基盤受付番号を用いてリクエストする流れとなっています。 何らかの要因によりレスポンス受信に失敗した場合など、介護情報基盤受付番号を照会する術がないため、登録結果返却をリクエストできなくなることを懸念しています。 例えば、○月○日に受け付けたファイルと介護情報基盤受付番号の紐づけ一覧などを取得できる方法を検討いただけないでしょうか。	記載いただいた通り、介護情報基盤受付番号については登録要求時のレスポンスおよび登録処理実施時のメール通知にて連携するため、登録結果返却をリクエストできなくなる状況は発生しない想定です。 なお、万が一レスポンス受信の失敗およびメール通知の受信失敗が重なった場合は、介護情報基盤にて実装予定の画面より登録結果が参照は可能であるため、画面参照をご利用いただく想定です。
36	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 1 受け渡し概要	登録要求	39	登録要求の際に介護情報基盤のチェックでエラーになった場合、正常レコードとエラーレコードが混在のケースでは正常レコードは登録されますでしょうか。 弊社では①を想定しています。 <想定回答> ① 正常レコードはエラーとせず登録するため、次回送付はエラーレコードのみに絞る必要がある ② 正常レコードも含めてファイル単位でエラーとなるため、再送が必要 ③ その他	登録要求に対しては、以下の2段階のチェックを実施いたします。 ファイル単位（ヘッダ部）チェック レコード単位（ボディ部）チェック 上記のファイル単位チェックについては<想定回答>の②が該当し、レコード単位チェックについては①が該当いたします。
37	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	登録結果返却	45	登録結果返却で返却されるCSVファイルについて、登録要求で設定した項目が全て「-」（記録されない）となっております。 上記について、「○」（必ず記録される）に変更していただけないでしょうか。 登録要求で登録エラーとなった時のデータを登録結果返却で返却されたCSVファイル単独では確認できないため、登録エラーとなった登録要求で設定した項目については、登録結果返却で返却されるCSVファイルに設定することで介護保険システムでの処理が煩雑化しにくくなると考えております。	データ通信量の観点から、登録要求したすべての項目を登録結果返却の項目に設定する事はしない想定です。そのため要求ファイルは自治体システム側でも送信後一定期間保管していただくようお願いいたします。 なお、登録要求ファイルと登録結果返却ファイルの紐づけ方法については検討中となりますので、2.0版改版にて検討結果を展開いたします。 ファイルを自治体システム側で保管する旨について、仕様書へ追記いたします。

問い合わせ内容					回答内容	
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	問い合わせ内容	回答
38	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	項番 1 0	46	「個人番号（マイナンバー）」について、必須項目となっているが、住登外等、マイナンバーがない場合はどのような設定となるか。半角スペースを設定など設定内容を提示いただきたい。	介護情報基盤はマイナンバーを元に他システムとの連携を実施するため、マイナンバーが登録されている被保険者の情報のみを連携していただく予定です。
39	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	不開示フラグ	47	自治体においては、不開示情報は、団体内統合宛名システムで管理しています。介護保険システムでは、介護保険システムで登録したもののみ管理しています。（他業務システムがAさんに対して不開示登録したとしても介護保険システムでは管理していない） そのため、中間サーバーの情報照会時の不開示情報と同等の意味を持たせる必要があるのであれば、介護保険システムで管理している情報では不十分ではないかと思われます（各社状況は違うと想定）。 想定されている不開示情報は、どのような情報を想定されていますでしょうか。（もし団体内統合宛名システムで管理している情報全てが必要な場合、団体内統合宛名システムから介護保険システムが情報取得する必要がありますが、現時点標準仕様書の実装必須機能としては規定されていませんので、標準仕様書を見直ししていただく必要もあると考えています）	介護情報基盤で不開示フラグが設定されている場合、当該被保険者について介護事業所等からは見えない状態（＝照会時に該当なし）となります。 このように制御したい被保険者（DV被害者等）について不開示フラグをご設定ください。
40	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	項番 1 9	47	資格異動事由コードについて詳細が記載されているが、データ要件連携要件の基本データリストにあるコード一覧と規定されているコード数と差異がある。 介護情報基盤とのコードはインタフェース仕様書に記載のコードのみとなるか。 基本データリストのコード一覧の範囲と考えてよいか。 弊社では介護情報基盤とのコードはインタフェース仕様書に記載のコードのみと想定している。	記載いただいた想定のとおり、介護情報基盤への連携については、インタフェース仕様書に記載のコードにて実施をお願いいたします。
41	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	保険者資格取得事由コード	48	No21 保険者資格取得事由コードとして「101:転居」が定義されています。同一保険者内の転居時は資格取得は行われない（資格取得日は変更されない）と想定しています。 「101:転居」を使用するケースについて、ご提示いただければと思います。 101転居は、No19「資格異動事由コード」と考えておりますが、如何でしょうか。	ご指摘の通り、「101：転居」は資格異動事由コードとなります。 なお、資格異動事由コードに規定されている「201：転入通知」は資格喪失事由コードとなります。 上記については、仕様書の次回改版時に修正いたします。
42	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	項番 2 8～3 1	50	ファイル連携の際の登録結果返却については、送付したCSVファイルに対して項番 2 8～3 1 に値が記録されたCSVファイルが連携されるか。CSVレイアウトの変更はないか。 それともボディ部は○以外は空で返却される想定か。 空で返却される場合、介護システム側で明細レコードの特定ができなため、ボディ部の情報もセットしたうえで結果データを返却していただきたい。	ファイル連携の登録結果返却時に送付するCSVについては、ボディ部の「○」もしくは「△」となっている項目のみを設定して返却します。
43	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 4 項目設定時の留意事項	(1) 不開示フラグについて	51	---抜粋--- なお、転入出があった場合においては、転入元/転出先の自治体間で情報をやりとりするのではなく、被保険者が転出先で申請を行う際に転出先自治体が開示/不開示について確認を行い、 ----- とありますが、被保険者が認定申請を行っていない場合、転入時に被保険者は資格取得の申請を行わない（転入により自動で取得）と想定します。 この場合、開示/不開示の確認をどのように実施するのか、運用フローをご提示いただきたいです。	記載が不明瞭であったため、2.0版改版にて記載内容の見直しを実施いたします。 なお補足説明を以下に示します。 本項目の開示・不開示の手続については、介護保険分野単独で実施されるものではなく、他行政分野も合わせて実施されるものと認識しております。 （例：DV被害者が警察に届出を行い、行政機関に手続きを行った場合に、当該住民に対する各種情報を不開示とする等） よって、介護保険に関連する申請手続きと紐づいた手続きとはなりません。 開示・不開示の制御においては、自治体内の各システム間で連動した仕様になっていると認識しておりますので、自治体システム側にてご検討いただき、その状態を介護情報基盤に連携ください。

問い合わせ内容					回答内容	
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	問い合わせ内容	回答
44	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1. 4 項目設定時の留意事項	(2) 更新区分情報の設定時の注意事項	51	更新区分情報「9:削除」で送付後、同一キーで再度更新が行われる場合(削除の取り消し等)、更新区分情報は再度「1:新規」で送付しますでしょうか。 <想定回答> ①「9:削除」で送付後に同一キーの情報を送付する場合、「1:新規」で再送する。 ②「9:削除」で送付後、同一キーの情報送付は不可。 ③ その他 弊社では①を想定しております。	左記①の通り、同一キー情報を「1:新規」として送付していただきます。
45	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 2. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	必須_登録要求	63	必須欄に「条件付き必須△」や「条件付き必須」と記載されている箇所があります。『2. 3. 2. 1 項目説明の内容』(69ページ)には必須欄は「“○”、“△”、“ー”のいずれかを記載する。」となっていますので、“条件付き必須”も選択肢に含めていただきたい。	条件付き必須について、仕様書の次回改版時に別区分として定義いたします。
46	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 2. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	項番 1 5	63	「生年月日_不詳表記」について具体的な設定内容などの提示をお願いしたい。	証に印字されている内容をそのまま記録していただく想定です。 ただし、証に不詳表記の印字がない場合は" " (全角スペース) を記録してください。
47	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 2. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	項番 2 2	64	データを削除が発生した場合、履歴番号がずれてしまうことが発生するが、すでに送付済のレコードに対しても履歴番号の更新としてデータを連携する必要があるか。 弊社では送付済のレコードに対しては履歴番号の更新としてデータを連携する必要があると想定している。	証情報のCSVレイアウトにおける項番22「要介護認定履歴番号」についてのご質問であり、当該履歴番号は、要介護認定情報 (全量・日次) や要介護認定進捗状況と連動した項目であるため、仮に要介護認定情報 (全量・日次) や要介護認定進捗状況のデータ削除が発生した場合、証情報における本項目についても番号の繰り上げ等の更新が発生することを想定したご質問かと推測いたします。 これを前提とした場合、要介護認定 (全量・日次) 情報および要介護認定進捗状況における「要介護認定履歴番号」と紐づく番号を設定し、更新としてデータを連携いただければと思います。
48	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 2. 4 項目設定時の留意事項	(3) 要介護認定申請中の注意事項	75	保険者様の運用により、証発行を行わない場合もあると想定されますが、その場合においても、証情報連携を行う必要があるのでしょうか。 連携を行う必要がある場合、交付年月日にはいつの日付を設定して連携を行えばよいかと教示願います。	認定審査中に異動した場合、その認定結果を登録する必要があり、そのために証情報を連携頂く想定です。その際の交付年月日については2.0版改版時に記載致します。
49	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 3. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	No.18「減免減額証履歴番号	89	「減免減額証履歴番号」の付番方法を確認させてください。 <想定回答> ① 証記載介護保険者番号・被保険者番号単位で「1～」付番する(証発行ごとに連番を+1する)。 ② 証記載介護保険者番号・被保険者番号・減免減額証区分単位で「1～」付番する。 ③ その他 弊社では①を想定しております。	左記の②で相違ございません。

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
50	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 5. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	診断名1～診断名20	125～135	<p>(1)「診断名1、診断名コード1、発症年月日1」～「診断名20、診断名コード20、発症年月日20」が連携される仕様ですが、診断名等は1～20まで必要でしょうか。当該データから主治医意見書を印刷することを想定していますが、主治医意見書の様式では、診断名等は3件分しか出力しないため、20件のデータが必要な理由が不明でした。弊社では①を想定しています。</p> <p>①診断名等は1～3までとする ②敢えて20件としている理由があり修正予定なし ③その他</p> <p>(1)で修正予定がない場合、以下の(2)(3)についてご教示願います。 (2)診断名等に4件以上データがあった場合、主治医意見書に出力する3件はどのような基準で選定しますでしょうか。データを選定する観点(〇〇を昇順にソートし、先頭3件分等)があればご教示願います。 (3)診断名等に設定済みのデータと未設定のデータが混在している場合、診断名1～データは結めて設定されますでしょうか。取込み時にデータが結めて設定されていない場合は、設定されている診断名を診断名1～の順に結めるシフト処理が必要だと考えています。弊社では①を想定しています。</p> <p>①診断名1設定有("〇〇"), 診断名2設定有("△△"), 診断名3未設定(""), 診断名4以降未設定("")のように、情報は結めて設定される ②診断名1未設定(""), 診断名2設定有("〇〇"), 診断名3設定有("△△"), 診断名4以降未設定("")のように、情報は結めて設定されない</p>
51	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 5. 4 項目設定時の留意事項	(1)取得条件	148	<p>画面、APIの場合は取得対象を指定して情報を取得するとの記載があります。</p> <p>1. 取得条件として指定可能な項目(当該インタフェースの主キーを想定します) 2. 条件指定の方法(APIの場合のインタフェース情報)をご教示ください。</p>
52	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 6. 1. 1 受け渡し概要図(バッチ処理)	PDF	153	<p>PDFで作成する審査会資料は審査員用(個人を特定可能な情報にマスクがかかったもの)であり、事務局用(被保険者番号等の個人を特定可能な情報も印字)ではないとの認識でよいのか。</p>
53	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 6. 4 項目設定時の留意事項	(8)更新区分情報の設定時の注意事項	166	<p>キー項目(「保険者番号」、「認定審査会開催予定日」、「合議体番号」)と記載されていますが、2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について(29ページ)では主キー項目は「審査会開催保険者番号、区分、合議体番号、開催予定日、開始予定時刻」となっており、異なります。審査会資料連携のCSVのキー項目はどちらが正しいかご教示願います。</p>

問い合わせ内容						回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	問い合わせ内容	回答
54	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	-	176	<p>要介護認定情報（全量・日次）連携のCSVファイルレイアウトの主治医意見書に関する項目について、「地方公共団体基幹業務システム_基本データリスト（介護保険）」の意見書情報で定義されている項目の桁数と異なっている項目が存在します。</p> <p>基本データリストで定義されている桁数のほうが大きい項目（シート「項番54_参考」参照）について、介護保険システムからCSVを作成する際に桁あふれが発生する場合は想定されますので、桁あふれが発生した場合の対処方法についてご教示願います。</p> <p>弊社では②を想定しています。</p> <p>＜想定回答＞</p> <p>①CSVファイルレイアウトの桁数に合わせて文字を削る</p> <p>②CSVファイルレイアウトの桁数を見直す</p> <p>③その他</p>	<p>想定回答②の通り、CSVファイルレイアウトの桁数を見直しさせていただきます。</p>
55	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	要介護認定状況コード	177	<p>No.12「要介護認定状況コード」の内容について、No.11の「要介護認定申請区分コード」と同じ内容が記載されているため誤植と想定されます。</p>	<p>失礼しました。ご指摘の通り誤植となります。</p> <p>No.12「要介護認定状況コード」については、以下の記載となるため、仕様書の次回改版時に修正いたします。</p> <p>「要介護認定の認定状況を示すコード」</p>
56	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	<p>5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト) / 要介護認定情報（全量・日次）連携</p> <p>5. 8. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト) / 要介護認定進捗状況情報連携</p>	<p>項番9 要介護認定履歴番号</p> <p>項番9 要介護認定履歴番号</p>	<p>177</p> <p>227</p>	<p>「要介護認定履歴番号」について</p> <p>「※要介護認定履歴番号がない場合は「0」を指定」と記載されているが、「0」を指定するデータはどのようなデータを想定しているか？</p>	<p>標準仕様書の基本データリストに準拠した介護保険システムであれば左記ケースは発生しないと想定しております。</p> <p>ただし、履歴番号を採番せず別の方法で履歴を管理しているシステムの場合など特殊なケースを想定して記載していましたが、2.0版改版時に本記載の内容を見直すことを検討いたします。</p>
57	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	意見書「障害高齢者の日常生活自立度」等	190	<p>05主治医意見書等情報（提供用）連携(以降05と略す)と07要介護認定情報（全量・日次）連携(以降07と略す)に同一項目が存在するが、コード値が異なっています。</p> <p>両インタフェースでコード値が不統一である理由が想定できなかったため、統一していただきたいです。（07は認定ソフトのコード値と一致しているため、07に合わせるべきと考えております。）</p> <p>弊社では①を想定しています。</p> <p>＜想定回答＞</p> <p>①07に合わせるよう修正予定</p> <p>②敢えて変えている理由があり修正予定なし</p> <p>③その他</p> <p>＜異なっているコード値の一例＞</p> <p>・意見書「認知症高齢者の日常生活自立度」の場合、05は「1:自立 2:Ⅰ 3:Ⅱ a 4:Ⅱ b 5:Ⅲ a 6:Ⅲ b 7:Ⅳ 8:M 0:未選択」、07は「1:自立 2:Ⅰ 3:Ⅱ a 4:Ⅱ b 5:Ⅲ a 6:Ⅲ b 7:Ⅳ 8:M 9:記載なし」</p> <p>・意見書「障害高齢者の日常生活自立度」の場合、05は（項目名が「寝たきり度」となっているが）「1:自立 2:Ⅰ 3:Ⅱ 4:A 1 5:A 2 6:B 1 7:B 2 8:C 1 9:C 2 0:未選択」、07は「0:自立 1:Ⅰ 2:Ⅱ 3:A 1 4:A 2 5:B 1 6:B 2 7:C 1 8:C 2」</p> <p>・意見書「短期記憶」の場合、05は「0:未選択 1:問題なし 2:問題あり」、07は「1:問題なし 2:問題あり 9:記載なし」</p>	<p>コード値が異なっているとのこと、申し訳ございません。</p> <p>左記①の通りとなりますので、仕様書の次回改版時に修正いたします。</p>

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
58	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	意見書「障害高齢者の日常生活自立度」	190	<p>意見書「障害高齢者の日常生活自立度」について、調査票の障害高齢者自立度とコード値が異なるが記載の誤りではないか。 調査票の障害高齢者自立度のコード値が正と想定している。</p> <p>意見書「障害高齢者の日常生活自立度」 0:自立 1:J 1 2:J 2 3:A 1 4:A 2 5:B 1 6:B 2 7:C 1 8:C 2</p> <p>障害高齢者自立度 1:自立 2:J 1 3:J 2 4:A 1 5:A 2 6:B 1 7:B 2 8:C 1 9:C 2</p>
59	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	意見書「歩行補助具・装具の使用」(配列)コード	195	<p>05主治医意見書等情報（提供用）連携(以降05と略す)と07要介護認定情報（全量・日次）連携(以降07と略す)に同一項目が存在するが、意味が異なっています。 両インタフェースで意味が不統一である理由が想定できなかったため、統一していただきます。（07は認定ソフトのコード値と一致しているため、07に合わせるべきと考えております。） 弊社では①を想定しています。</p> <p>①07に合わせるよう修正予定 ②敢えて変えている理由があり修正予定なし ③その他</p> <p>＜異なっている意味の例＞ ・意見書「歩行補助具・装具の使用」(配列)コードの場合、05は左から項目の並び順に（0:未選択項目 1:選択項目）で出力（用いていない、屋外で使用、屋内で使用）、07は左から項目の並び順に（0:用いていない 1:用いている）で出力（歩行補助具・装具使用、歩行補助具・装具を屋外で使用、歩行補助具・装具を屋内で使用）</p>
60	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	意見書「医学的管理の必要性」(配列)コード	196	<p>05主治医意見書等情報（提供用）連携(以降05と略す)と07要介護認定情報（全量・日次）連携(以降07と略す)に同一項目が存在するが、桁数および意味が異なっています。 両インタフェースで桁数が不統一である理由が想定できなかったため、統一していただきたいです。（07は認定ソフトのコード値と一致および厚生労働省が提示している主治医意見書項目と一致しているため、07に合わせるべきと考えております。） 弊社では①を想定しています。</p> <p>①07に合わせるよう修正予定 ②敢えて変えている理由があり修正予定なし ③その他</p> <p>＜異なっている桁数の例＞ ・意見書「医学的管理の必要性」(配列)コードの場合、05は桁数14桁で上から備考に示している順番に（0:未選択項目 1:選択項目 2:下線あり項目）で出力（訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、短期入所療養介護、訪問歯科診療、訪問歯科衛生指導、訪問薬剤管理指導、訪問栄養食事指導、その他、看護職員の訪問による相談・支援、老人保健施設、介護医療院、医学的管理特記すべき項目なし）、07は桁数13桁で左から項目の並び順に（0:不要 1:必要 2:必要性が高い(下線付き)）で出力（訪問診療、訪問看護、訪問歯科診療、訪問薬剤管理指導、訪問リハビリテーション、短期入所療養介護、訪問歯科衛生指導、訪問栄養食事指導、通所リハビリテーション、老人保健施設、介護医療院、その他の医療系サービス、特記すべき項目なしコード）</p>

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
61	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 7. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	No.327「情報提供用PDFファイル」	215	<p>----- 認定調査票、主治意見書を含む情報提供用の PDF ファイルをbase64 としたバイナリ情報 ----- と記載されています。 情報提供用のファイルが複数件となる場合、1ファイルにまとめて送付が必要でしょうか。もしくは、複数ファイルの指定が可能でしょうか。</p> <p><想定回答> ① 1ファイルのみを指定可能 ② 複数ファイルの指定が可能 弊社では①を想定します。②の場合、指定方法をご提示いただければと思います。</p>
62	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 8. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	認定審査会開催日	229	<p>「認定審査会開催日」と「二次判定日」の項目がありますが、認定審査会で二次判定を行うためこれら2つの日付は同日になると認識しています。「認定審査会開催日」と「二次判定日」を別の項目として定義している意図をご教示願います。</p>
63	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 8. 4 項目設定時の留意事項	(2) 更新区分情報の設定時の注意事項	233	<p>キー項目（「証記載介護保険者番号」、「介護保険被保険者番号」、「要介護認定申請日」）と記載されていますが、2. 5. 5 同一ファイル内レコードの主キー項目重複に関する制限について（29ページ）では主キー項目は（証記載介護保険者番号、介護保険被保険者番号、要介護認定履歴番号）となっており、異なっています。要介護認定進捗状況情報連携のCSVのキー項目はどちらが正しいかご教示願います。</p>
64	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 9. 1. 1 受け渡し概要図（バッチ処理）	—	236	<p>介護保険者番号を送付した際に、取得できる居宅サービス計画作成・介護予防サービス計画作成（介護予防ケアマネジメント）依頼届出情報は介護情報基盤で保持している全情報のCSVファイルが作成される認識でよいか。 CSVファイル取得までにファイル作成時間を考慮して取得しに行く必要があるか。</p> <p>弊社では依頼届出情報は介護情報基盤で保持している全情報のCSVファイルが作成され、CSVファイル取得までにファイル作成時間を考慮して取得しに行く必要はないと想定している。</p>
65	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 9. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)		239	<p>居宅サービス計画作成・介護予防サービス計画作成（介護予防ケアマネジメント）依頼届出情報について、保険者で取得後、保険者システムにて管理を行うことになると想定されますので、「地方公共団体基幹業務システム_基本データリスト（介護保険）」の居宅サービス計画届出情報の管理項目を連携項目に追加していただきたい。（当該項目が連携されない場合、別途、取得する必要がでてくるため）</p>

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
66	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 9. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	項番 1 3	240	<p>介護情報基盤から連携されてくるデータの「届出区分コード」について、連携初回は「新規」で連携されてくるか。</p> <p>弊社では連携初回は「新規」で連携されると想定している。</p> <p>外部IF仕様書の5.9.4(1)に記載のとおり、当該項目は他のインタフェース項目の「更新区分情報」と異なります。 当該届出書の運用における介護情報基盤の役割は、介護事業所から保険者への受け渡しのためのプラットフォームであり、介護情報基盤では当該届出書データについて新規・更新・削除というデータ管理（履歴管理）の考え方はありません。</p> <p>介護事業所から連携された届出記載情報の一部として、設定された届出区分コードをそのまま介護保険者に連携いたします。このため初回連携等の考え方はありません。</p>
67	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 9. 4 項目設定時の留意事項	(3) 取得条件	246	<p>「バッチ処理の場合は、その時点で保険者が取得していない情報が一律連携対象となる。」とあるが、保険者取得していない情報の判定はどのように行われるか。</p> <p>介護情報基盤内に取得有無を判断する区分を保持し、「未連携」となっている情報のみを連携対象とするよう制御いたします。 介護保険システムより取得要求が実施された際、「未連携」となっている情報を連携し、連携後に「連携済」というステータスへの更新を行います。</p>
68	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 9. 4 項目設定時の留意事項	(3) 取得条件	246	<p>画面、APIの場合は取得対象を指定して情報を取得するとの記載があります。 1. 取得条件として指定可能な項目(当該インタフェースの主キーを想定します) 2. 条件指定の方法(APIの場合のインタフェース情報) をご教示ください。</p> <p>API連携の場合もバッチ処理と同様、その時点で保険者が取得していない情報が一律連携対象となるため、記載を修正いたします。</p>
69	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 10. 3 項目説明 (CSVファイルレイアウト)	住宅改修費利用可能額	260	<p>介護保険住宅改修費利用情報の住宅改修費利用可能額について、「支給金額の利用可能額」と記載されていることから、申請額（上限20万円）でなく、支給額（上限18万円）をさしていると解釈している。 その上で、「支給金額の利用可能額」は給付率に応じて金額が変わります。以下の支給実績の場合、住宅改修費利用可能額の金額はどのように求めるべきか。 弊社では①を想定しています。</p> <p>■支給実績 1 回目…申請額：10,000円、支給額：9,000円、給付率：90% 2 回目…申請額：10,000円、支給額：8,000円、給付率：80%</p> <p>①連携時点の給付率より求めた支給額の上限より、過去の支給額を差し引く。 (200,000 * 0.8) - (9,000+8,000) = 143,000 ②利用可能な申請額に対して、連携時点の給付率をかけて求める。(端数が発生する場合は、端数は切り捨てとなる) (200,000 - (10,000 + 10,000)) * 0.8 = 144,000 ③その他（計算式をご教示ください。端数が発生する計算である場合は、端数が切り上げなのか切り捨てなのかも含めてご教示ください。）</p> <p>左記に記載の通り、住宅改修費利用可能額は申請額ではなく支給額を意図しております。計算式については、介護情報基盤で規定するものではなく介護保険に係る制度要件となりますので、制度要件にてご確認をお願いいたします。</p>

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
70	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1 0. 4 項目設定時の留意事項	(3) レコード作成イメージ	263	<p>「住宅改修計算単位連番」について、リセットごとに1からの連番を設定するため、住宅改修計算単位連番:2について、リセット区分コード:01（改修先住所）が設定されていることより、住宅改修計算単位連番:3は1となるのではないのでしょうか。</p> <p>「住宅改修計算単位連番」（※）は各自治体単位でリセットされる度にカウントアップされます。 ※上限額20万円に対して、どれくらい住宅改修費を使用したかを管理する連番</p> <p>また、以前住宅改修を実施した住所へ再転居した際、住宅改修実施時点から要介護認定が3段階変更されていない場合については、再転居先にて使用していた「住宅改修計算単位連番」を使用していただく想定です。</p> <p>なお、目次5. 1 0. 3の項番9および目次5. 1 0. 4の(3)レコード作成イメージについては、上記の内容が分かりづらい記載となっておりますので、2.0版改版時に見直しいたします。</p>
71	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1 1. 3 項目説明（CSVファイルレイアウト）	項番9	273	<p>サービス提供年度について一般的な年度（4月～3月）もしくは給付の年度（8月～7月）のどちらとなるか。</p> <p>弊社ではサービス提供年度について一般的な年度（4月～3月）を想定している。</p> <p>介護保険福祉用具購入費については、「一般的な年度（4月～3月）にてリセットされるため、記載いただいた想定通り「一般的な年度（4月～3月）」となります。</p>
72	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1 1. 3 項目説明（CSVファイルレイアウト）	申請給付種類別コード①～支給決定日①	274	<p>介護保険福祉用具購入費利用情報の項番11～38について、必須が△（条件付き必須）となっておりますが、必須となる条件について明記されておりません。以下のケースの場合について、値の設定内容について認識があるか教えてください。</p> <p>＜ケース1＞ 福祉用具購入費の支給実績が存在し、介護予防福祉用具購入費の支給実績が存在しない場合 ⇒項番11～24は必須で値を設定し、項番25～38に値は設定しない（null値となる）</p> <p>＜ケース2＞ 福祉用具購入費、介護予防福祉用具購入費の支給実績が両方存在する場合 ⇒項番11～24、項番25～38は必須で値を設定する</p> <p>弊社では①を想定しています。</p> <p>①認識に相違ない。（可能であれば、必須となる条件をインタフェース仕様書に記載いただけますでしょうか） ②認識が異なる。（条件を教えてください）</p> <p>想定回答①の通り、記載いただいた内容に認識相違ございません。 頂いたコメントの通り、必須となる条件を追記いたします。</p>
73	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1 2. 4 項目設定時の留意事項	(1) 更新区分情報の設定時の注意事項	294	<p>更新区分情報として「1：新規」は使用しないとなっているが、介護情報基盤へ新規にデータが登録される運用フローをご提示いただきたい。</p> <p>「介護被保険者証利用情報」については、「介護被保険者番号等情報連携」にて初期データが作成されます。 ※PMHキー発行と同時に初期データを作成</p>
74	介護情報基盤との連携におけるインタフェース仕様書_1.0版	5. 1 3. 1. 1 受け渡し概要図（パッチ処理）	—	296	<p>介護保険者番号を送付した際に、取得できる介護被保険者証利用情報は介護情報基盤で保持している全情報のCSVファイルが作成される認識でよいのか。 CSVファイル取得までにファイル作成時間を考慮して取得しに行く必要があるか。</p> <p>要求された際に返却するCSVファイルについては、これまで未出力の情報のみとなります。 ファイルの取得タイミングについて、リクエストに対するレスポンスで返却する署名付きURLにてファイルを取得していただきますが、署名付きURLを返却したタイミングでCSVファイルは作成されておりますので、ファイル作成時間の考慮は不要となります。</p> <p>弊社では介護被保険者証利用情報は介護情報基盤で保持している全情報のCSVファイルが作成され、CSVファイル取得までにファイル作成時間を考慮して取得しに行く必要はないと想定している。</p>

問い合わせ内容					回答内容
項番	ドキュメント名	該当目次	行数・項目	ページ数 (PDF)	回答
75	別紙01_API一覧_介護被保険者番号等情報連携 (IF-A-01-02-01～04)	-	IF-A-01-02-01_レスポンス	-	<p>「要求結果」、「登録要求処理ステータス」に設定されるコード値について、備考欄等に記載をお願いします。 ※正常に登録要求できたのか、エラーが返却されたのかの判定のためには必須の記載だと考えます。</p> <p>・要求結果 「成功」もしくは「失敗」</p> <p>以上の内容については、仕様書の次回改版時に追記、削除いたします。</p>
76	別紙01_API一覧_介護被保険者番号等情報連携 (IF-A-01-02-01～04)	-	-	-	<p>レイアウトに関して、出現回数が"0"となる場合（処理結果詳細（要求）、署名付きURL）は、どのような時か。正常でも発生する可能性があるのか。 明記がないため、出現回数が"0"になるケースをインタフェース仕様書、または別紙の備考に記載いただきたい。</p> <p>各項目については以下の場合に出現回数が"0"となるため、仕様書の次回改版時に追記いたします。</p> <p>・処理結果詳細（要求） 登録要求に対するエラーが発生しなかった場合</p> <p>・署名付きURL 登録要求にてエラーが発生した場合</p>
77	別紙01_API一覧_介護被保険者番号等情報連携 (IF-A-01-02-01～04)	-	-	-	<p>データ型で"リスト"とある部分が繰り返し点になるかと想定するが、サンプルでリクエストデータ、レスポンスデータの提供をいただけないか。</p> <p>想定として記載いただいた内容に相違ございません。 サンプルデータについては現状提供予定はございません。</p>
78	別紙01_API一覧_介護被保険者番号等情報連携 (IF-A-01-02-01～04)	-	IF-A-01-02-04_レスポンス	-	<p>項番13「受付明細番号」については、登録要求を行った際に送付したボディ部の情報に対応するものと考えますが、登録結果の明細情報は登録要求時の送付順と対応する認識で相違ないでしょうか。 登録要求と登録結果返却要求を同タイミングで実施できないため、送付した明細と結果を紐づける必要があります。</p> <p><想定回答> ① 登録結果の明細順は送付時の順番に対応する。 ② ①以外となる。 弊社では①を想定します。なお②の場合、登録要求時のレスポンス情報に「受付明細番号」の追加をお願いいたします。</p> <p>登録要求ファイルと登録結果返却ファイルの紐づけ方法については検討中となりますので、2.0版改版にて検討結果を展開いたします。</p>
79	別紙05_API一覧_主治医意見書等情報（提供用）連携 (IF-B-01-03-01～02)	-	IF-B-01-03-02_リクエスト	-	<p>介護保険主治医意見書等情報の取得要求（JSON形式連携）のリクエストについて、リクエストボディの項番04：CSVファイル名にはどのような値を設定すればよいのかご教示願います。</p> <p>本件誤植となります、失礼いたしました。 JSON形式連携ではCSVファイルを受受することはないため、項目を見直します。</p>
80	別紙07_API一覧_要介護認定情報（全量・日次）連携 (IF-B-03-01-01～04)	-	-	-	<p>固定長項目について、未設定の場合は何を設定すればよいか確認させていただきたい。 属性に合わせた空白文字を設定すればいいのか、また、日付項目についても、空白でもいいのか。</p> <p>出現回数の最小が"0"となっている固定長項目については、未設定の場合は""（null値）としていただければと思います。</p>